

発電所だより

11月号

平成24年11月発行 東北電力株式会社女川原子力発電所総務部広報グループ 女川町塚浜字前田1 電話0225-53-3111 原子力の情報をホームページで公開しています。 <http://www.tohoku-epco.co.jp/>

《女川原子力発電所の安全対策について（第2回）－緊急時の電源確保－》

「発電所だより」では、東京電力福島第一原子力発電所の事故を踏まえ実施している安全対策のうち主要なものについて取り上げています。

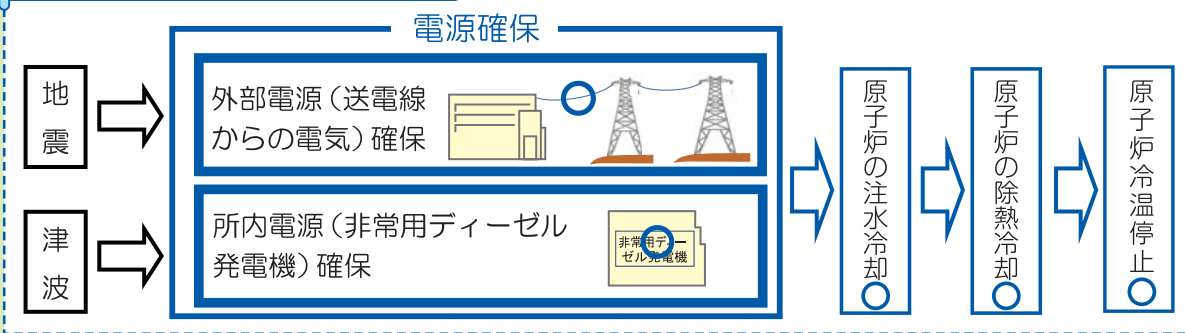
2回目となる今回は、「緊急時の電源確保」について紹介します。

女川原子力発電所では、発電所が完全に停電（全交流電源喪失）した場合でも、原

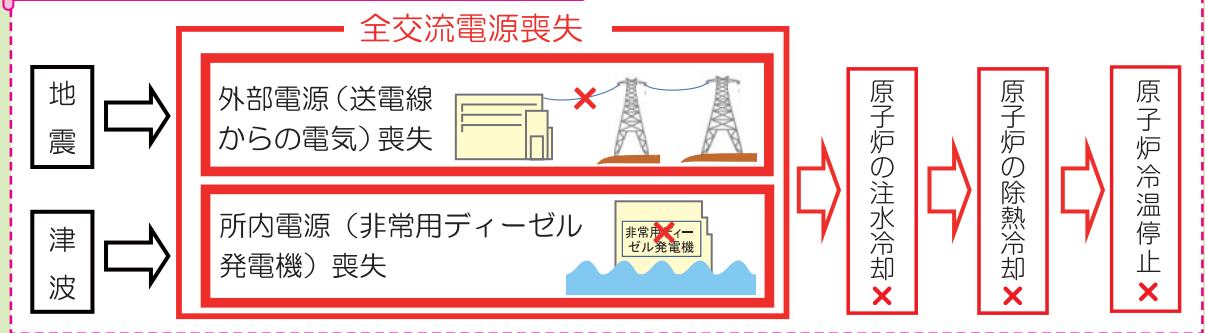
子炉を冷却し、安定した状態で安全に停止させるために必要な電気を速やかに確保できるように、敷地内の高台に緊急用の『電源車』と『大容量電源装置』を配備しました。

さらに、既存の非常用ディーゼル発電機と同等の性能を持つ非常用発電機を津波の影響を受けない高台へ配備するべく検討しています。

震災時の女川原子力発電所



福島第一原子力発電所では（震災当時）



緊急時の電源確保

従来からの電源

- 外部電源（送電線からの電気）
- 全5回線が各号機に接続
- 所内電源（非常用ディーゼル発電機）
- 計8台を配備。各号機間での電源融通可能



大容量電源装置を高台（海拔52m）に配備

原子炉の除熱機能を有する非常用冷却海水系の大型ポンプなど、電源車では稼働できなかった設備の運転が可能となり、原子炉を冷温停止することができます。

【配備台数：3台（出力5000kVA／1台）】
※一般家庭約5000世帯分の設備容量に相当。

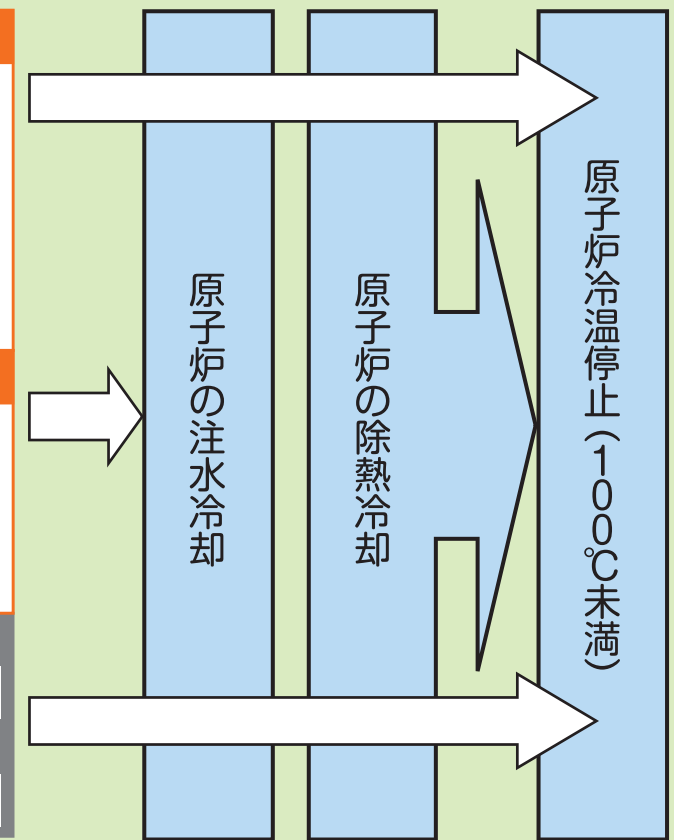


電源車を高台（海拔22m）に配備

原子炉へ注水するために必要なポンプ、計測制御装置、原子炉格納容器ベント機能などに必要な電力を供給します。

【配備台数：4台（出力400kVA／1台）】

原子力発電所は、安全確保の観点から、仮に外部電源が一定期間（7日間程度）なくても、発電所内に設置している非常用ディーゼル発電機で、原子炉を「止める」「冷やす」放射性物質を「閉じ込める」といった安全機能を確保する設計となっています。



《女川原子力発電所の状況について》

東北地方太平洋沖地震により、女川原子力発電所の全号機は設計どおりに自動停止し、安定した状態で安全に停止しています。

現在、定期検査を実施し、設備点検、復旧作業等を進めています。

現在実施している定期検査の9月分として、トラブルに該当する事象はありませんでした。

トラブルに該当しない軽度な事象として、2号機において原子炉建屋天井クレーンの2つある吊上げ装置のうち1つ（補巻）の昇降速度の制御不具合がありましたが、もう1つ（主巻）が使用できることから、クレーンの機能に影響を与えるものではありません。

地震および津波による女川原子力発電所の主要設備への軽微な被害の対応として、これまでに計61件のうち52件の対応が完了しています。

最新の情報は当社ホームページ（<http://www.tohoku-epco.co.jp/>）に掲載しています。

《「おながわ秋刀魚収穫祭」に参加しました》

9月23日、全国有数のサンマ水揚げを誇る女川町で、恒例の「おながわ秋刀魚収穫祭」（女川魚市場買受人協同組合主催）が開催されました。

当日は、あいにくの天候にもかかわらず、町内外から多くの方々が訪れ、女川漁港に水揚げされたサンマ5000匹の炭火焼きが来場者に無料で提供されました。

収穫祭には、当発電所も参加し、当社イメージキャラクター「マカプゥ」の形をした大型遊具「ふわふわマカプゥ」の中では、子どもたちが元気に飛び跳ねて遊んでいました。



脂の乗ったサンマが炭火焼きで振舞われました

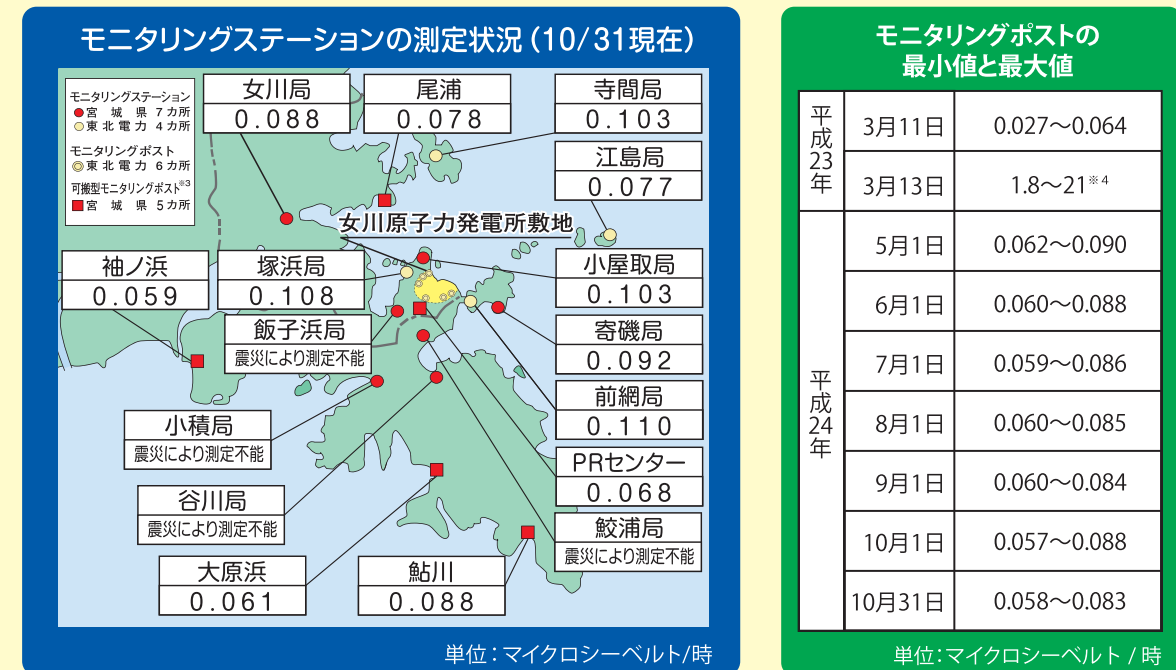


子どもたちに人気だった「ふわふわマカプゥ」

《女川原子力発電所周辺の放射線量は安定しています》

女川原子力発電所周辺の放射線はモニタリングポスト※1やモニタリングステーション※2で測定・監視しており、その測定値は宮城県および当社ホームページで公開しています。

発電所敷地内に設置してあるモニタリングポストの現在の測定値は、東京電力福島第一原子力発電所からの放射性物質の放出に伴い、震災前よりも若干高い値を示していますが、最大で0.083マイクロシーベルト/時程度で安定しており、健康に影響を与えるレベルではありません。



- ※1 モニタリングポストは発電所敷地周辺の環境放射線を測定しています。女川原子力発電所の敷地境界には6基のモニタリングポストが設置されており、その最小値と最大値について、東北地方太平洋沖地震の発生日の値、それ以降で最大値が測定された日（平成23年3月13日）の値、至近6カ月の値を掲載しています。
- ※2 モニタリングステーションは環境放射線に加えて気象データを測定しています。
- ※3 宮城県では、震災により測定不能となっているモニタリングステーションの代替として、可搬型モニタリングポストによる測定を行っています。
- ※4 東京電力福島第一原子力発電所からの放射性物質の放出に伴い測定されたもので、測定された時間は約10分間です。

《発電所周辺道路の清掃活動を実施しました》

9月26日、秋の全国交通安全運動期間にあわせ、発電所員と構内協力企業の社員約90人が発電所周辺道路の清掃活動を実施しました。

当日は、発電所周辺の約6kmの区間で、道路沿いに落ちている空き缶やビン、ペットボトルなどのごみを拾いました。

